

新型通勤電車の開発について

JR北海道では、軽量化などのメリットがあるアルミ合金製車体の寒冷地における状態を検証することを目的に、札幌圏用通勤電車の試作車として735系交流電車の開発を進めております。735系は、ボディにアルミ合金を採用したほか、バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した客室設備としており、乗降口のステップレス化、車イス対応トイレの大型化、吊り手数の増加や配置の見直しなどを行なっています。

1. 投入両数 6両(3両編成×2本)
2. 投入時期 平成22年3月に完成し、低温時や降雪時における車体断熱性などを検証する走行試験を平成22、23年度に実施する計画です。試験を実施しない夏期には、営業列車として使用する予定です。
3. 投入区間 札幌圏を中心に通勤車両として使用する予定です。



[エクステリア(イメージ)]



[インテリア(イメージ)]

車両の仕様

車両形式 : 735系通勤形交流電車
車両編成 : 3両(1M2T)
最高運転速度 : 120km/h

車両の特徴

JR北海道としては初めて、ボディにアルミ合金を採用しています(先頭部分は従来通り鋼鉄製となっています)。

既存の車両より約10cmの低床化を実現し、乗降口をノンステップとしています。

速度0km/hまで回生ブレーキが有効な全電気ブレーキを通勤・近郊車両としては初めて採用したことなどにより、省エネ、省メンテナンス性能の向上を図っています。

吊り手の設置数や配置の見直し、手すりの増設など、お客様の使いやすさを考慮した客室設備としています。

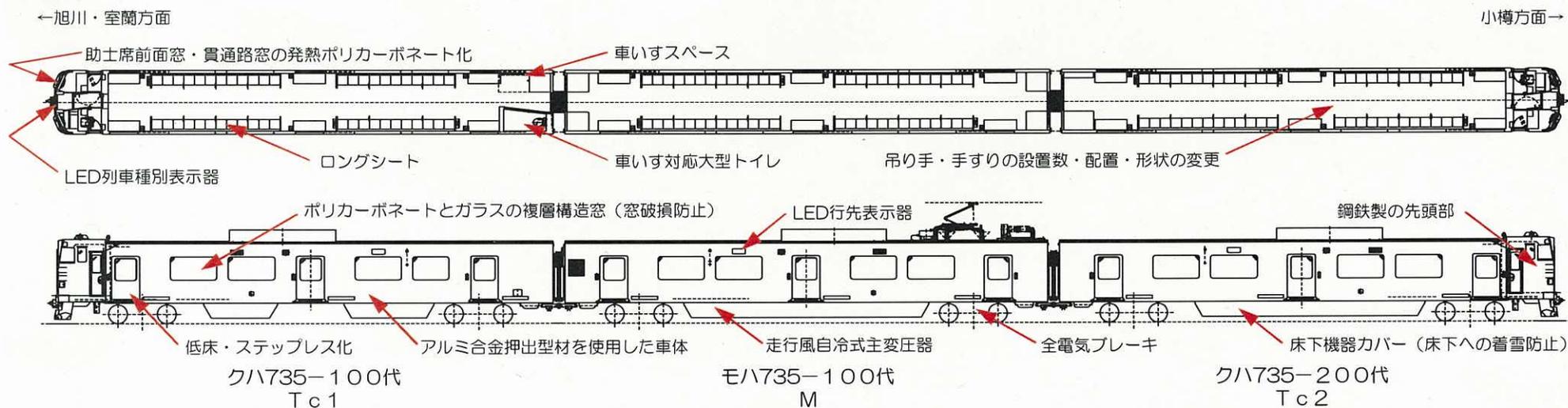
今までよりスペースを拡大した車イス対応トイレ、車イススペースなどを設置し、バリアフリーに対応した車両としています。

客室は片側3扉のオールロングシートで、通勤時の混雑緩和を図っています。

既存の731系電車や721系電車と連結して運転することが可能です。

新型通勤電車（735系）の概要

■編成図



■通勤・近郊形電車の比較

形式	735系	731系	721系（エアポート編成を除く）
外観			
車体	アルミ合金（先頭部：鋼鉄製）	ステンレス鋼（先頭部：鋼鉄製）	ステンレス鋼（先頭部：鋼鉄製）
室内	オールロングシート	オールロングシート（一部跳ね上げ式）	転換クロスシート
定員	428人（座席：148人）※1	433人（座席：148人）※2	269人（座席：141人）※2
バリアフリー設備	車いすスペース	○	△（一部の編成のみ）
	車いす対応トイレ	○	×

※1 立席定員算定基準の見直しにより、定員数は減少していますが、実質的なスペースは731系と同等となっています。

※2 定員数は代表的な車両を表しており、これとは異なる定員の編成もあります。